

週刊新潮

5月17日 菖蒲月増大号

特別定価 420円

特集

生誕100年「田中角栄」



18

創刊1946年5月17日 発行所 新潮社 東京都千代田区西千代 1-10-1 電話 03-5561-1111

TOWN SPORTS GOURMET SCREEN GUIDE TELEVISION MY ONLY ENTERTAINMENT BUSINESS LOBBY

ワロドモス 《母上の遺書》 1866年 油彩 30x40cm
The Pushkin State Museum of Fine Arts, Moscow



展示する。目玉は、初来日となるワロドモス《母上の遺書》(写真)。印象派の誕生前夜、26歳の若きモネが、マネの同名の作品に刺激を受けて着手した、挑戦的な作品だ。

「7月8日、上野「東京都美術館」/月曜休/1600円/03-5777-8600」
革命前のモスクワで財をなした伝説的な2人のコレクター、セルゲイ・シチュキンとイワン・モロゾフが19世紀末から20世紀初頭に収集したコレクションを中心に、モスクワのプーシキン美術館からフランスの近代風景画65点を描かれた時代と場所を軸に

プーシキン美術館展 旅するフランス風景画

ガイド TEMPO

サムライの纏うもの

「6月17日、岡山「林原美術館」/月曜休/500円/086-223-1736」
サムライは、着飾った装束や甲冑を身に纏い、馬には鞍や鎧を纏わせ、腰物には所有者の教養の高さと精神性を纏い、身だしなみを整える上で香を纏った。また、嗜みとして、様々な古典を学び、芸能や剣術を身につけていた。

本展では、こうしたサムライたち自身が身に纏うものに加えて、馬に纏わせていた鞍や鎧、鉄砲筒、刀筒も展示する。

蛭川有紀 絵画展 「永遠の薔薇」 深紅の薔薇に思いを馳せて

「5月20日、渋谷「Bunkamura Gallery」/無休/無料/03-3477-9174」
女優や映像作家として精力的な創作活動を続けてきた蛭川有紀は、画家として

ハンクマン

「6月12日18時、13日13時、与野本町「彩の国さいたま芸術劇場」、16日、27日の全16公演、三野茶屋「世田谷ハブリックシアター」/さいたま7800円、世田谷8500円/03-3477-5858」
ドライな残酷さとドラマの顔も持つ。今年で画壇デビューから10年という節目を迎えるに当たり、ダンテの「神曲」の世界をモチーフにしたという過去の代表的な作品群に加え、「水速」をテーマに自由な筆致と独特の感性で描かれた数々の新作を披露する。

なお、12日には蛭川本人によるトークイベントが、13日には朗読会が、それぞれ予定されている(ともに事前予約不要)。



本展の目録 118-597004 発行 岩井 2016年

「6月30日19時、青葉台「フイリアホール」、31日19時、築地市場「浜離宮朝日ホール」/30日5000円、31日5500円/03-3552-3881」
アグレッシブで感情表現に富み、炎のヴァイオリニストの異名をとるスム。長くスイス・小澤征爾国際アカデミーに参加し、小澤の厚い信頼を得てきた。10代からイスラエル・フィルやパリ管弦楽団と共演、近年も世界の舞台上で目覚ましい活躍を続ける。30日はモーツァルト、シューマン、アレクサンドラ・スラム、ヴァイオリン・リサイタル

ティックな暴力の中でもなおユーモアが。アカデミー主要2部門受賞「スリー・ビルボード」の脚本、監督を手がけたマーティン・マクドナーの最新戯曲が、小川絵梨子の翻訳、長塚圭史の演出で。田中哲司、秋山菜津子ら個性豊かな出演者。豊橋、京都、北九州でも。



「6月4日19時、溜池山王「ザントリール」/7000円/30000円/057010561057」
昨年、大野和士の後任として仏リヨン歌劇場の首席指揮者に就任、将来の「巨匠」の座を確実視され、世界で最も多忙な指揮者の一人となったイタリアのルス・テイオーニ(写真)が登場する。昨年2月にも都響に客演し、圧倒的な牙えを發揮した。今回は若きR・シュトラウスの「イタリアより」のほか、ヴォルフ・フェラーリの知られざるヴァイオリン協奏曲は、夫人でもあるスター・ヴァイオリニスト、フランチェスカ・デゴと共に演ずる。

ストラヴィンスキー、メシアン、ラヴェル。ダニエレ・ルステイオーニ指揮 東京都交響楽団